議事 登山のあり方の更なる検討について

登山活動の地域連携について

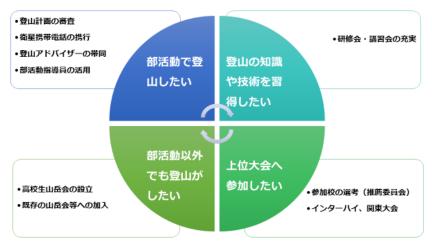
1 これまでの経緯

| | 委員会で示したこと | 委員会での意見 |
|----------------------------|--|--|
| 第3回検討委員会 令和4(2022)7月6日 | ・本県高校生登山のあり方の方向性「高校生の多様なニーズを 踏まえた登山活動が 安全に実施できる環境の構築を目指す」 ・高校生の登山活動を地域における活動に移行していくこと(図1) ・地域における登山活動例(図1の例3~⑥) | ・高校生の多様なニーズへの対応について具体的な方向性を 示すこと ・例③から⑥については、環境整備等に課題が多いため、モデ ル事業などを実施しながら見定めていくとよい |
| 第4回検討委員会 令和5(2023)年2月1日 | ・生徒のニーズ(①部活動で登山したい、②登山の知識や技術を増やしたい、③上位大会へ参加したい、④部活動以外でも登山がしたい)を踏まえた安全登山への取組(図2) ・中長期的取組として、県主催の登山活動(専門家指導による合同登山)や高校生年代の山岳会設立 | ・生徒のニーズを踏まえた安全登山への取組(中・長期的な取組を含む)については、 <u>示された方向性で具体化を進めること</u> |

図1 第3回検討委員会で示した取組のイメージ



図2 第4回検討委員会で示した「生徒のニーズを踏まえた安全登山への取組



2 県教育委員会が行う実践研究について

本県高校生山岳部を取り巻く課題

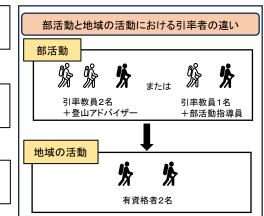
- ・登山経験の少ない、あるいは未経験の顧問が多く、今後も、経験豊富な顧問の不足が見込まれる
- 高校生の登山を地域に移行していくにあたり、新たな取り組みに対する課題が多く、運営団体の確保が困難である。

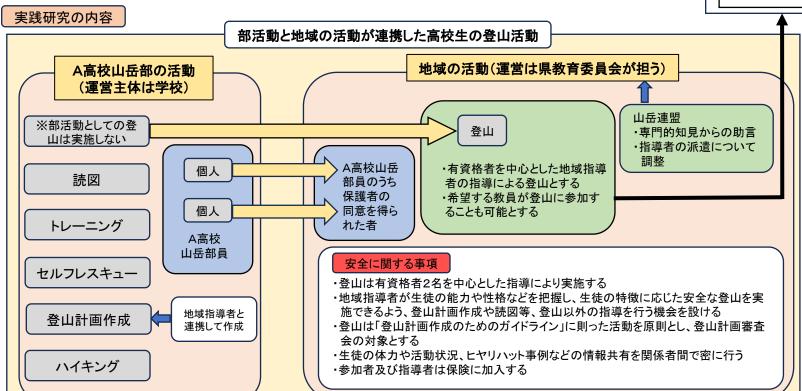
対応の方向性

高校生の登山活動を、<u>地域の活動</u>として実施する場を創出するとともに、<u>教員の引率を必要としない</u>登山体制を構築する

取組案

運営団体は県教育委員会とし、山岳部の活動のうち、主に<u>登山を地域の活動として実施</u>する実践研究を栃木県山岳・スポーツクライミング連盟と連携して行う





実践研究の実施 予定

- ・実践研究実施希望 校を募り、R7年度から 実施
- 実施期間はR7から R9年度

ご協議いただき たいこと

- ・部活動の内容について
- ・地域の活動の内容について
- ・部活動と地域の活動 の連携について
- ・「安全に関する事項」に ついて